

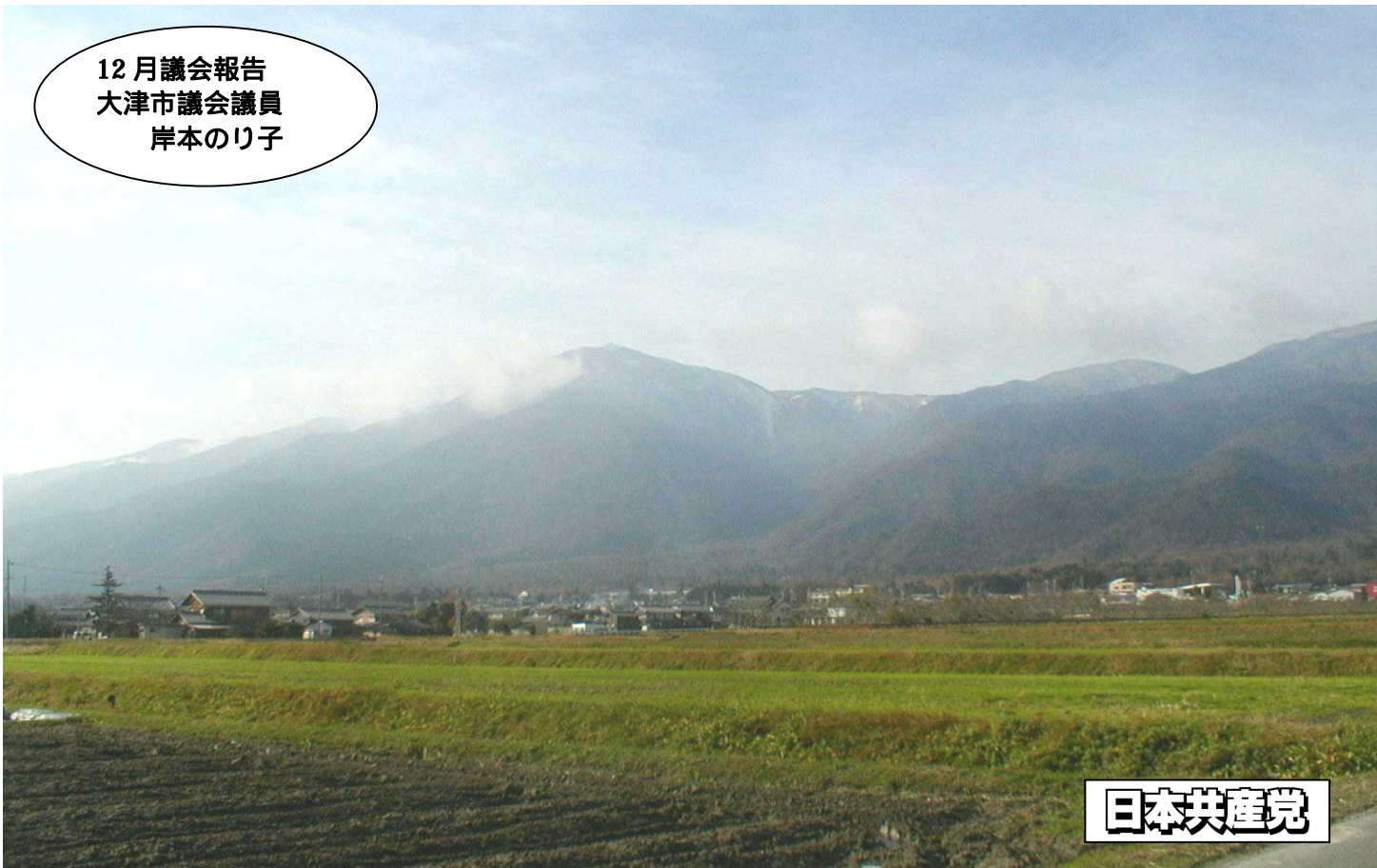
こんごちは

岸本のり子です

08年1月10日 第30号
発行 日本共産党大津湖西地区委員会
連絡先 大津市和邇春日2丁目
TEL FAX 594-6001

日本共産党

12月議会報告
大津市議会議員
岸本のり子



いま子育ての環境は不安がいっぱい！

子どもたち、お父さん、お母さん、応援する施策を

子育ての不安を一杯かかえて…

一昨年、子ども家庭課や母子保健課に寄せられた相談は約1万3000件。

子育ての不安、児童虐待、子どもの障害、不登校など、少しでも対応が遅れると大変な事態になります。



岸本市議は悩みに応える児童相談所子育て支援センターなど子どもに関わる機関や施設で、人が足らない、また、その多くが専門知識や資格をもちながら囁託といつ不安定な身分であることを指摘し、体制の強化と改善を求めました。

必要に応じた体制の強化に努める」との答弁がありました。だが、安心して子どもを生み育てられる環境づくりのためには、社会全体で支え保障する取り組みが必要です。

みな同じように……

小中学生の通学費の全額補助を

旧志賀町では、通学費は全額補助していました。合併して今では5割の補助になりました。

岸本市議が市全体の通学費の実態を調査したところ、旧大津市の中学生のうち3%の254人の生徒が年4万円の自己負担、特にバスでの通学は5万円を超えるのです。

比較年から皇子山中学に通う31人の生徒の自己負担は年7万円を超えるのです。

教育の機会均等の立場から、義務教育の間はせめて通学費は全額支給することを求めました。

あつたかい、おいしい給食がいい！

岸本市議は、旧志賀町が実施していた小学校の給食は自校方式に戻し、志賀中学校の学校給食を残し、中学校給食を全市に広げることが一貫して求めてきました。アンケートを実施

8月には、志賀中学校の生徒たちの声を聞くため、蓬萊駅にたつアンケート活動を行いました。305人の生徒さんが答えてくれました。

弁当と給食なら給食の方が良いと答えた生徒は63.5%。以前の自校方式の給食ならもっと良いと答えた。生産者の方々と話し合う

市の示す「リスト」では、安全でおいしい材料の提供ができない。

先生たちと話し合う

「パン」の弁当や菓子パン、栄養補助食品もときのお菓子を買って食べている子どもたちの昼食をみると見逃せない深刻な問題。給食実施の必要性は認めるが、同時に教職員の多忙化の解消が不可欠。

12月議会でも岸本市議は

★ 教育委員会が中学生の弁当について現状を把握することや現場の先生の声を聞くように求めました。

★ 食料自給率が40%をわるなか、食の安全・安心を求め、声も高まっている。大津市の農業生産者とのネットワークを広げ、地産地消に取り組むことを求めました。

教育委員会は生産者の拡大に努めるとしながらも、弁当の現状を把握することでも先生から聞き取ることも拒否。



エレベーターの設置が可能

乗降客 5000 人未満の駅でも、バリアフリー新法で

湖西線の階段は平均 55 段
大津市の庁舎 4 階まで
歩いて上ることにする！

自分一人でも階段を上るのがやっとなうお年寄りが足の悪い夫を支えて、通院のため 55 段の階段を上るのは「きつ」「怖い」「小野や和邇駅だけでなく他の駅にもエレベーターはつかないの〜」……
蓬萊駅以北のお年寄りが、わざわざエレベーターのある和邇駅までタクシーに乗ってきて、JR を利用して……。 ……

こんな声に応える法律はないものかと岸本市議や党市議団が研究したところ、国は高齢者 障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律「バリアフリー新法」を 2006 年 12 月 20 日に施行していることがわかりました。

新法では
平日平均利用者 5000 人未満の鉄道駅および軌道停留場についても地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず、高齢者 障害者等の利用の実態等をふまえて移動等円滑化を可能な限り実施する」となっています。



大津市	18.54%
小松	23.66
木戸	21.70
和邇	18.24
小野	25.07

65 歳以上の人口比

合併特例債をつかって庁舎建設するより、優先して高齢者や障害者に優しい駅に使ってほしいものです。

雄琴 小野駅へのエレベーター新設工事の負担金は、県市合わせて 1 億 3 千 6 百万円。交通手段が唯一 JR だけの志賀北部の住民にとって、巡回するバスもない現状では、ますます高齢者 障害者のみなさんが利用しやすい駅にすることを優先すべきではないでしょうか。

「現状では国の支援が決まっていけない。民間 JR に単独支援は考えていない。しかしながら、必要性は充分認識し、国県に強く要望する」と答弁。
建設部長は
「現状では国の支援が決まっていけない。民間 JR に単独支援は考えていない。しかしながら、必要性は充分認識し、国県に強く要望する」と答弁。

巡回バスもない！ 交通手段は JR だけ

一日も早い途中トンネルの無料化を

岸本市議は途中トンネルの無料化について、一日も早い実現を求めました。

建設部長は
「……最重点の要望として県に提出……」

「これまで、伊香立途中地域の交通問題や生活環境の改善という視点だけでなく、平成 17 年湖西道路の無料化や、今後和邇インターのフルインターなどで、本市のみでなく湖西一帯と地域一円の交通確保、国道 161 号線西大津集中の緩和のため、最重点要望として県に出していきたい。」

本市の一定負担も考えながら、県当局と積極的に協議を進めているが、県の厳しい財政状況で進んでいない。今後一日も早い無料化に向けて努力していきたい。」と答えました。



途中トンネルは 15 億円をかけて昭和 63 年 4 月 5 日開通。混雑緩和のための道路も有料のため、(わずか 0.5km の距離で軽自動車 100 円、普通車 150 円、大型車 I で 260 円、II で 570 円)、多くの車が旧道を通りぬける。一昨年末には旧道沿いの民家の方が、泥はねを掃除するため屋根に上がって落下し、亡くなられた不幸な事故が起っています。
料金の徴収は平成 30 年 4 月 4 日までとなっていますが、県の借金残高はあと 3 億 9 千万円。
こんなときこそ、合併特例債を活用して一日も早く、無料化をはかってほしいものです。

12 月議会に住民のみなさんから提出された請願と各派の態度
どれも切実な願いばかり ◎は紹介議員 ○●賛成 ×●反対

件名	大志会	市民ネ	共産党	公明党	結の会	清正会	対話社
悪質商法被害をなくすための割賦販売法改正を求める意見書提出に関する事について	○	◎	○	○	○	○	○
全国一斉学力テストの結果を公表しないことと来年度以降の不参加を求める事について	×	×	◎	×	×	×	○
大津市全域での中学校給食の実施を求める事について	×	×	◎	×	×	×	×
小口簡易資金の充実を求める事について	×	×	◎	×	×	×	×
消費税の増税に反対することについて	×	×	◎	×	×	×	×
後期高齢者医療制度の 4 月実施中止・見直しを求める意見書採択について	×	×	◎	×	×	×	○

日本共産党が紹介した請願だからと、反対理由も示さず否決する自民公明民主系の議員さん……
旧志賀町が 30 年間続けてきた中学校給食を残し、全市に広げてほしいという切実な願いも黙って否決する地元議員さん……
みなさん！運動と世論で政治を動かしましょう！
岸本のリ子